

対立する経済

アメリカは GDP に対して多くを消費していますが、中国はそれほどでもありません。その結果が「陰」と「陽」の関係です。全体として見れば、中国は生産し、アメリカは消費しています。

財務長官のスコット・ベセント氏は、先週の上院公聴会で次のように述べました。「中国には、過剰生産からより多くの消費へと経済をシフトさせ、安定させるという一度きりのチャンスがある」と。

これが関税や貿易交渉の合言葉となっています。そしてアメリカ政府はその原因をすべて中国に求めているように見えますが、アメリカにも「一度きりのチャンス」があります。それは過剰消費からより多くの生産へと移行することです。

ジョン・メイナード・ケインズ氏は、市場は周期的に失敗することがあり、その際には政府支出を増やすことが答えだと説きました。黒板の上では、ケインズ経済学は非常にシンプルです。「限界貯蓄性向」が高い人に課税し、「限界消費性向」が高い人に分配すれば、成長につながるという考えです。それは、消費が GDP の約 70% を占めているからです。

しかし現実世界では、これが GDP を引き上げるわけではありませんが、消費を押し上げます。2008 年以降、アメリカの実質消費財支出は 62% 増加しました。一方で、「付加価値製造業」の最も積極的な指標は 14% しか増えていません。つまり、政府の政策によってアメリカ経済はバランスを崩しているのです。私たちは生産よりも多くを消費しており、これは中国とは正反対です。

中国が意図的にアメリカを利用しているのか、それともアメリカの政策がそれを容易にしているのかは分かりませんが、全ての責任を中国に押し付けるのは正しくありません。

アメリカが産業の再分配や規制を強めれば強めるほど、消費は増え、生産は減少します。真の解決策は、財政支出の削減、税率の引き下げと規制の緩和です。しかし、これらをすべて実行するには大統領だけではできず、議会の協力が必要

です。大統領ができるのは関税（つまり税金）を引き上げることですが、その手法が法的に許容されるかどうかは最終的には裁判所が判断するでしょう。

要するに、アメリカは「中国が消費せず、生産している」ことを非難することもできますが、「アメリカが消費しすぎて生産しなさすぎている」ことにも目を向けるべきです。

この問題は、「Make America Healthy Again (MAHA=アメリカを再び健康に)」という運動の主張と似ています。アメリカには肥満な人間や糖尿病患者が多すぎます。その理由は、MAHA によれば、アメリカの食料供給がひどいためです。私たちは、食の仕組みが生む「症状」を治療しているだけで、「根本原因」に対処していないのです。

関税についても同じことが言えます。私たちは過剰に消費し、十分に生産していないために輸入が増えています。関税は、悪い政策によって引き起こされた「症状」に対処するものであり、「本当の問題」には対処していません。そして、それはすべて中国のせいではありません。

誤解しないでください。中国がフェアに振る舞っていると言いたいわけではありません。彼らは知的財産を盗み、労働者に不当な低賃金を支払い、アメリカの消費主導型社会を利用しています。その上で、アメリカの地政学的な強さを弱体化させようとしています。

弊社が言いたいのは、アメリカは消費を助長し、生産を罰するような政策をやめるべきだということです。アメリカは過去 100 年近く、ケインズの教えに従ってきました。高い税金、財政支出の拡大、過度な規制。それが今の歪んだ経済の原因なのです。本当にこの問題を解決したいのなら、中国に「もっと消費して、生産を減らせ」と言うだけでなく、アメリカ自身がその逆を行わなければなりません。

「対立する経済」の世界において、アメリカは他国を非難しながら、自らの足を撃ち続けています。そろそろ、他国のことはさておき、自国の足元を正すときです。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
6-16 / 7:30 am	ニューヨーク連銀製造業景気指数 - 6 月	-6.0	-7.0	-16.0	-9.2
6-17 / 7:30 am	小売販売 - 5 月	-0.6%	-0.6%		+0.1%
7:30 am	小売販売 (除く自動車) - 5 月	+0.2%	+0.3%		+0.1%
7:30 am	輸入価格 - 5 月	-0.2%	-0.4%		+0.1%
7:30 am	輸出価格 - 5 月	-0.2%	-0.4%		+0.1%
8:15 am	鉱工業生産 - 5 月	0.0%	+0.1%		0.0%
8:15 am	設備稼働率 - 5 月	77.7%	77.6%		77.7%
9:00 am	企業在庫 - 4 月	0.0%	0.0%		+0.1%
6-18 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 6 月 10 日	245,000	244,000		248,000
7:30 am	住宅着工 - 5 月	1.359 百万	1.359 百万		1.361 百万
6-20 / 7:30 am	フィラデルフィア連銀製造業景気指数 - 6 月	-1.0	5.6		-4.0

情報提供のみを目的としています。投資家向けではありません。ここに掲載されている情報は、投資活動への招待、申し出、勧誘、推奨を意味するものではありません。コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。